

平成27年度学校評価関係者からの評価や提言等（概要）

鹿児島県立国分高等学校

平成27年度は、学校関係者評価委員会を3回開催した。委員からは概ね良好な評価を頂いた。以下に、委員からの評価及び提言の概略を示す。

1 全般

学校が全体的に落ち着いており、夏祭りに参加するなど信頼される学校づくりができている。授業参観時の授業態度も落ち着いており、日ごろの挨拶が非常に良い。

学区再編により進路実績の推移が危惧されたが、これまでの水準を維持し、健闘している。学校としての中・長期目標を策定し、同窓会や保護者そして地域と連携しながら国分高校の良さを発信してほしい。

2 学業面

- (1) 理数科の活躍は顕著であるが、その成果が保護者・生徒に伝わっていない面もある。
それをいかに伝えるかが課題ではないか。
- (2) 地元大学の進学指導と同時に、難関大学志願者に対する支援もさらに充実させてほしい。県外においても活躍することを期待している。
- (3) 現在の中学1年生から導入される予定の、知識活用が求められる「新テスト」に備え、その対応を図っていくべきではないか。

3 生活面

- (1) 近年、スマートフォンや携帯電話に関する事件が多発している。国分高校において、大きな問題は発生していないようであるが、使い方に関するモラルの徹底をさらに図ってほしい。
- (2) 通学の様子について、昨年度より通学路を広がって登下校する生徒が減少した。
- (3) 学校周辺の不審者情報等については、地域や公的機関との連絡を密にしながら情報収集に努めてほしい。